

第10分科会 環境教育

【研究課題】 環境への豊かな感性と実践力を育てる環境教育の推進

【研究の視点②】 家庭や地域社会と連携した実践活動の推進

〈研究発表〉 児童・生徒が自ら考え、地域と共に歩む

環境教育を推進するための校長としてのあり方

愛媛県宇和島市立^{こもぶち}蔭淵小学校 前田 善正

〈発表概要〉

「地域環境の状況を把握し、環境教育の方向性を踏まえながら、地域の特性を生かした活動実践をすれば、児童・生徒が環境を守る実践力を身に付けるのではないか」という研究仮説のもと、宇和海校区の取組を検証する。

①環境教育の方向性の分析

②各校の取組把握

「時期」「内容」「協力団体」「継続性」等をもとに一覧化し、校区の特徴を調べ、拠点化・協力化の推進に結び付ける。

③校区校長会との連携

教職員の意識化と児童・生徒の意欲づけ、発展性を育てるために、校長間の意識統一と共通理解を行う。また、関係諸団体との連携強化を図るための情報交換の場とする。

④成果と課題の検証

取組の成果と課題を検証し、指導計画・活動方針を見直し、継続的な実践が行われる手立てとする。